



兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2012 **6**



5月9日(水)、生活協同組合コープこうべは神戸市と「高齢消費者に対する啓発活動に関する事業者との協定」を締結しました。
写真は、(左)神戸市 矢田立郎 市長、(右)生活協同組合コープこうべ 本田英一 組合長理事。(関連ページP.5)

くらしの見直しを考える 生活者の視点から

「東日本大震災から一年がたちました」被災地ではまだまだ先の見えない苦難の道を歩まざるをえない方々がぎりぎりのところで踏ん張って生活されています。一方被災地以外の場所では、前述の「一年がたちました」というフレーズが様々なところでの挨拶などの枕詞のように使われていることが気になっていきます。東日本大震災から一年たったことで被災地以外の人達の間で被災地を思う気持ちにちよつとした区切りをつけた空気感がなんとなく広まってきているのではないのでしょうか。阪神大震災の経験にてらしても一年の年月の経過は被災地の状況に何の変化ももたらすものではないと思えます。特に兵庫県に住む私たちや、まして協同組合にかかわる者とし

て、何年たっても目を離すことなく被災地の方々と共に歩んでいなくてはならないと考えています。もう一つ絶対に目をそらしてはならない問題があります。それは、福島第一原子力発電所の事故の影響によってつきつけられたエネルギーの問題です。このことについて私達日本人は、エネルギー政策のあり方、特に原発に依存した電力の使い方について、否応なく見直しを迫られる事態となりました。そのことを受けて、日本生活協同組合連合会は、2011年12月に「エネルギー政策の転換をめぐして」という報告をまとめました。その中でエネルギー基本法に定められた基本視点の①安定供給の確保、②環境への適合、③市場原理の活用 の3つに加えて、安

CONTENTS

- | | |
|---------------------------------------|--|
| 2. 想点 | 6. 協同組合のかけ橋 |
| 4. 「広島被爆ピアノ平和コンサート」のご案内 | 7. 兵庫県のページ |
| 5. 単協通信 生活協同組合コープこうべ／
ひまわり医療生活協同組合 | 8. 「第90回 国際協同組合デー・兵庫県記念大会」の
ご案内／県連日誌／編集後記 |



生活協同組合コープこうべ 理事

伴 智代

(ばん・ちよ)

全の確保、国民の参加の2つを加えるように提言しています。また、今後のエネルギー政策の5つの重点課題として次の5項目が挙げられています。

- ① 原子力発電に頼らないエネルギー政策への転換
- ② 省エネルギー（節電）による使用電力量の大幅削減
- ③ 再生可能エネルギーの急速拡大
- ④ 天然ガス火力発電へのシフト
- ⑤ 電力・原子力に関わる制度改革と次世代送電網の構築

以上の5つの項目についてじっくり考えてみた時、一人の生活者として何ができるのでしょうか。それは、今までのくらし方をしっかり見直すことだと考えています。つまり、私達は、これまで地球温暖化防止、省エネと言われながらそのことを自分達の問題として、生活の中に落とし込めていなかったのではないかと反省の上になつて、自分達の足元からじっくり見直し、生活の仕方を変

えていくことだと思えます。そしてその思いを組合員一人ひとりが共有し、考えることができる土台作りをすることこそ、協同組合の重要な役割だと思えます。では、くらしの何を見直すべきなのでしょう。くらしの見直しという場合、食、環境、消費者問題、様々な分野での見直しを考えられますが、ここではエネルギー、特に節電ということについて考えてみようと思えます。

私達は現在まで、原子力発電や火力発電に支えられて、あまりにも多くの電力を無駄に消費してきたのではないのでしょうか。自分がかくらすいていくために必ず必要なの、あったら良いもの、全く必要のないものを整理し、本当に自分に必要な電力量をそれぞれが見極めて、使用電力量の総量を抑えることで原子力発電に依存しなくてもくらしにいけるようになるのではないのでしょうか。他にもその人その人なりの節電方法があると思えます。大量に消費することが豊か

さの証明だという考え方から本当に必要なものを上手に使い切るこゝとが本当の豊かな生活だという考え方に切り替え、それを実践できる生活者になることが、東日本大震災とそれに伴う福島第一原子力発電所の事故を現実にも目の当たりにした者としての重大な責任なのではないのでしょうか。その生活者の一人一人の思いと行動力をまとめ、結集してよりよい社会を作るための学習や教育の場を提供することが協同組合に求められる役割だと思えます。くしくも今年には国際協同組合年です。協同組合の存在意義を改めて確認し、社会に対して示していけるようにみなさんと共に頑張っていきたいと思っています。



広島被爆ピアノ平和コンサート

原爆の爆風で傷つきながらも永い歳月を乗り越えた「被爆ピアノ」が平和を奏でるコンサートを開催いたします。皆様のご参加・お申込みをお待ちしています。

入場無料
招待券が
必要です



2012年8月10日(金)
PM1:00開場 PM1:30開演

兵庫県民会館9階 けんみんホール
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
TEL:078-321-2131(代)



出演

- ピアノ・向井 理佐美 ●ソプラノ・工西 美穂
- 矢川 光則 (矢川ピアノ工房)



●広島被爆ピアノプロフィール●

ホルゲル (HORUGEL) アップライトピアノ
(カズコのピアノ)
製造：昭和15年 形状：88鍵 象牙鍵型 高さ：129cm
広島市南区 原爆投下時、爆心地より2.6kmで被爆。
元の持ち主とピアノが自宅にて同時被爆。
平成21年5月。所有者(和子さん)より、ピアノ調律師・矢川
光則さん(広島市)に託される。

◆被爆ピアノを弾く演奏者を募集しています◆

当日被爆ピアノを演奏して下さる方(3名)を募集いたします。演奏技術は問いません。ご希望の方は、曲名(3分以内)、〒ご住所、お名前、年齢、電話番号を明記のうえ「平和への想い」を400字以内にまとめFAXにてご応募ください。**6月30日(土) 必着。**
(兵庫県生協連合会 FAX:078-392-2059) ※応募者多数の場合は、抽選にて演奏者を決めさせていただきます。

“招待券”のお申込み方法(ご招待人数は、360名です)

往復ハガキ「往信面」の裏に ①お名前・年齢 ②〒(郵便番号)・ご住所 ③電話番号 ④ご同伴者(2名様まで) お名前・年齢 ⑤ご利用の生協名 を明記し、下記住所までご応募ください。

(1枚のハガキで3名様までお申し込みいただけます) ☆応募者多数の場合は、抽選となります。

締切り：6月30日(土) 当日消印有効

発表：7月中旬、返信ハガキにて抽選結果をお知らせします。個人情報は招待券発行以外には使用いたしません。

あて先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通4丁目16-3 県民会館4階
兵庫県生活協同組合連合会「広島被爆ピアノ平和コンサート」係 まで

主催：兵庫県生活協同組合連合会

TEL:078-391-8634 FAX:078-392-2059 メール:hyogo@kobe.coop.or.jp

生活協同組合「コープこうべ」

神戸市と「高齢消費者に対する啓発活動に関する事業者との協定」を締結しました

5月9日(水)神戸市役所で、「高齢消費者に対する啓発活動に関する事業者との協定」締結式が行われました。コープこうべからは本田英一組合長理事が出席し、矢田立郎神戸市長と共に協定書に署名しました。神戸市がこの協定を締結するのは、コープこうべが最初となります。

この協定は、近年、高齢者の消費者被害が増えてきたことを受けて、神戸市から高齢者に直接消費者情報

を届けることで啓蒙・防止を図ろうとしています。その一翼をコープこうべが担うというものです。

コープこうべの夕食サポート「まいくる」は、毎週月曜日から金曜日まで、夕食用のお弁当を、利用者のご自宅までお届けするサービス。利用者と同じ地域に住む住民が、弁当をお届けする「夕食サポーター」として登録し、毎日、同じ組合員宅を訪問しています。



お届け先に高齢者が多いことから、この夕食サポート「まいくる」で取り組みをスタート。夕食用弁当と合わせて、神戸市が発行する悪質商法などによる被害を防ぐための啓発資料やステッカーを手渡します。これによって消費者問題への気づきを促し、安心して暮らせる地域社会づくりをすすめていきます。

(通信員 榎原智子)

ひまわり医療生活協同組合

「聞き書きボランティア」ステップアップ講座を開催

3月の講演会「聞き書きボランティア」ははじめの「ステップアップ」に引き続き、5月22日に「聞き書きボランティア」ステップアップ講座を開催しました。

講演会参加者のアンケートで、実践演習をやってほしいとの希望が多かったため、このステップアップ講座では、実際に語り手さんを招き、参加者(9名)全員が聞き手としてお話を伺うことにしました。



語ってくださったのは、尼崎市のホームホスピス「愛逢の家」の住人で、93歳になる男性Kさん。車イスはよろか杖も使わず、しっかりとした足取りで登場(でも、「愛逢の家」に入所された当時は車イスだったそう。日々の努力で現在のようになられたとか)、背筋をピンと伸ばしてお話してくださいました。

それは、17歳で満鉄(満州鉄道)に就職し、敗戦の翌年1946年に帰国するまでの、文字通り波瀾万丈の物語。記憶は鮮明、時にダジャレを交えた得意即妙



の受け答えは、とても90歳を超えておられるとは思えないKさんでした。お話は2時間でも3時間でも続きそうでしたし、聞き手の私たちも、もつともつとお聞きしたいという思いでしたが、テープ起こしと本に仕上げることを考え、1時間でお話を終えていただきました。

次回7月には、それぞれの作品を持ち寄り、合評会を行います。

どんな聞き書き本に仕上がるか、とても楽しみです。

(ひまわり聞き書き隊 酒井成美)

協同組合のかけ橋

JF 兵庫県漁業協同組合連合会

漁師の知恵を後世に…… ～淡路市 郡家に漁具資料館～

漁具は、昔から漁業者が経験と知恵を用い、改良が重ねられてきました。その漁具を様々な形で展示し、実際の漁業の姿を知ってもらおうと、4月24日(火)淡路市郡家に漁具資料館「丸幸(まるこう)」がオープンしました。

資料館には、各漁具の昔から現在の形に至るまでの変遷や、刺網・釣りの道具では対象魚種ごとの比較が出来るようになっており、約150点の漁具が展示されています。他に、底曳網などの模型が展示してあるほか、操舵室を再現したコーナーでは実際に装置等を触ることが出来ます。また、いろいろなロープの結び方を体験(要予約)したり、底曳網やノリ養殖を紹介するDVDの視聴など、見て、触れて、楽しみながら漁業について学ぶことが出来る内容となっています。

この資料館の館長は、元小学校教諭 石上 初志さん(60)です。5年前に父親の幸作さんを亡くされました。漁業を営んでおられた幸作さんの漁具を整理している時、「漁師が工夫して作った道具を、しまったり捨てたりするのでなく、見てもらうことで漁業や海のことについて知って貰えたら」と考え、幸作さんが使っていたノリ加工場等(約150平方メートル)を改築し、屋号の「丸幸」を冠した資料館の開設を決意。郡家地区の漁業者らも、古い漁具や、今使っている漁具を提供したり、展示品の製作に協力したほか、開館後はボランティアとして9名が、館内展示の解説や、ロープの結び方の指導などを行っています。

資料館開設にあたり、石上さんは、県水産技術センターをはじめ、多くの資料展示を見て回り、いろいろと検討を重ねた結果、「漁師の経験と知恵の結晶である“漁具”に焦点を当て、普段食べている魚がどのようにして獲られたのかを知ってもらう事で、海や魚食にもっと関心を持ってもらえたら」と、実際に見て、触れられる展示方法に決められたとのこと。今後は、小学生等の見学受入れなども検討していきたいと語られました。

この資料館は、午前9時～午後5時まで開館し、木曜休館。入館料は一般200円、小中学生100円。お問い合わせは同館 ☎656-1511 淡路市郡家1168-2(電話0799・70・1670)

館内の様子



“樽”(浮子)の今昔



今は空き缶で代用されることもある“貝ぐり”(イイダコの漁具)



「魚を獲る技術を知ってもらいたい、魚食文化への興味に繋げたい」と語る石上館長



JA グループ兵庫

こうべ旬菜 流通科学大学の学食に

JA兵庫六甲 こうべ旬菜部会^{※1}は4月16日より、流通科学大学(神戸市西区学園西町)の学生食堂「RYUKADINING」へ野菜提供を始めました。この取り組みは、同大学の学園祭で神戸市西区産の野菜・果物の「朝市」が開催されたことがきっかけで、行政、流通科学大学、同JA こうべ旬菜部会、同JA 神戸西宮農総合センターが連携し、市内の農畜産物への理解を促し、消費につなげていくため実施されました。こうべ旬菜を使い『流科ヘルシーUPメニュー』として、1日限定20食500円の日替わりメニュー(500kcal)の他、サラダや煮物などのメニューにも使用しています。

初日、さばのねぎ味噌焼き、キャベツのごま酢和え、南瓜のスイートサラダなど5品目の日替わりメニューが並びました。メニューを食した学生は、「野菜の甘さやシャキシャキとした歯ごたえもあるのでおいしい」「こうべ旬菜のことを知らなかったが、興味を持った」と話しました。

今回の取り組みを第1ステップと位置付け、今後、同大学の「社会連携プログラム^{※2}」の一環として、「神戸市内農水産物を活用した商品」をテーマとした作品を学生から募集し、優秀な作品を商品化(試験販売)する予定です。

※1 神戸市西地区の生産者が、神戸市内で環境保全に配慮した野菜を生産し、神戸ブランド野菜推進委員会が認定した野菜「こうべ旬菜」として販売しています

※2 実学的な学びを重視する流通科学大学が「企業」「行政」「地域」などと連携して、新商品を企画、開発、商品化するプログラム



栄養士監修の、栄養バランスの取れた日替わりメニュー



最近の消費生活相談事例

スマートフォンを ウイルスの脅威から守るために

事例

スマートフォンでもパソコンと同じようにコンピュータウイルスに感染する恐れがあると聞いたが、どのような対策を行えばいいのか。

【原因】

スマートフォンは、通話やメールだけでなく、パソコンのように多様なサイトにアクセスしたり、アプリと呼ばれるソフトをインストールして新たな機能の追加ができることから急速に普及しています。

一方で、スマートフォンを使用する人が増えるにつれ、ウイルス感染等の脅威も指摘されています。

ウイルスに感染すると、個人情報盗まれることがあります。例えばメールの履歴やネットの閲覧履歴を盗まれることにより人間関係や趣味・趣向が特定されたり、ネットバンキングのユーザーIDやパスワードが盗まれ、預金を引き出されるなどの金銭被害にあう恐れがあります。

ウイルスの感染を予防するには、①スマートフォンの基本ソフトであるOSを定期的にアップデートする（古いOSを使っていると、ウイルス感染の危険性が高くなります）、②OS提供事業者や携帯電話会社などが安全性の審査を行っているアプリケーション提供サイトからインストールする、③携帯電話会社などが提供しているモデルに応じたウイルス対策ソフトを導入するなどの対策が必要です。

このようにスマートフォンは小さなパソコンと考えて、十分なセキュリティ対策を行った上で使用しましょう。

(兵庫県生活科学総合センター 078-303-0999)

MOVE

「2012国際協同組合年 第90回 国際協同組合デー・兵庫県記念大会」のご案内

～協同の力で未来を拓く 協同組合がよりよい社会を築きます～

国際協同組合デーは、世界中の生協や農協、漁協、森林組合など協同組合の発展を願って祝う日。兵庫県では毎年7月の第1金曜日に各協同組合の関係者が集まり記念大会を開催しています。

今年度は、国連が定める「国際協同組合年」。

7月6日(金)、神戸市にて「国際協同組合デー・兵庫県記念大会」を開催いたします。記念講演は、牡蠣養殖家、NPO法人「森は海の恋人」代表で、国際的にご活躍の畠山重篤さんによる記念講演です。

- と き：2012年7月6日(金) 13:30～16:00
- と ころ：神戸市立東灘区民センター うはらホール
- プログラム

I部 記念式典：主催者あいさつ
来賓あいさつ
兵庫JCC宣言

II部 記念講演：

テーマ：「海と共に生きる～震災復興と 森は海の恋人運動～」
講 師：畠山 重篤氏



プロフィール

●1943年中国上海生まれ。牡蠣養殖業。海を守るために「牡蠣の森を慕う会」を結成。1989年より漁民による広葉樹の植林活動「森は海の恋人」運動に取り組む。●2012年国連が森林の保護に取り組む人に贈る「森の英雄（フォレスト・ヒーローズ）」を受賞

- 参加人数：650人・入場無料（先着順）
 - ・「入場整理券」が必要です。事前にお申し込みください。
 - ・お申し込みが定員を超えると人数制限をお願いする場合がありますので、ご了承ください。

■主 催：兵庫県協同組合連絡協議会（兵庫JCC）

（兵庫県生活協同組合連合会・兵庫県農業協同組合中央会・兵庫県漁業協同組合連合会・兵庫県森林組合連合会）

■お申し込み・お問い合わせ：兵庫県生活協同組合連合会（担当：三宅）

TEL：078-391-8634 FAX：078-392-2059

県連日誌

- 6月4日(月) 兵協連 第2回役員推薦委員会
(兵協連事務所)
- 6月6日(水) 兵協連 第3回監事会(監事監査)
(兵協連事務所)
- 6月11日(月) 兵協連 第6回理事会
(県民会館 1201)
- 6月27日(水) 兵協連 第62回通常総会
(県民会館 11階ホール)

編集後記

通勤途中の交差点。見下ろすように、いろいろな事務所が入ったビルが建っています。先日、その交差点で信号待ちをしていると何やら熱い視線を感じ(？)ふと顔を上げビルを見上げると、開け放たれた大きな四角い窓に右手を掛け、「今、窓を開けました」という感じの全身骨格標本が私を見つめていました！心の中で「ギャッ！」と叫びながら、頭の中では「????」。ビルの正面にまわると「接骨院」の文字が……。納得。それ以後、毎朝ビルを見上げる私ですが、標本くんはお昼頃にはお仕事(?)をしているのか姿が見えませんが、なぜ朝だけ毎日、交差点を見下ろしているかは「ナゾ」ですが、遊び心たっぷりな朝の風景。ふだん、見つめられること、自体があまりないのですが、夏に向かってちよつとホラーな毎日です。
(中尾)

